

国外における学歴を有する者の技術検定受検資格認定申請

国外における学歴を有する者は、個別に申請し大臣認定書の交付を受けることで技術検定の受検が可能です。認定を希望される方は、以下の書類を全て揃えて下記あて送付下さい。

必要書類

1. 技術検定受検資格認定申請書（国外学歴）（様式1）
2. 卒業証明書（和訳及び和訳の公証手続きが必要）
3. 成績証明書（和訳及び和訳の公証手続きが必要）
4. 成績証明書（様式2）
5. 履歴書（様式3）
6. 身分証明書（運転免許証のコピー、住民票等）（日本国籍の場合のみ必要）
7. 在留カードのコピー（外国籍の場合のみ必要）

注意

- 外国語の書類については、**和訳及び和訳の公証※手続きが必要**です。
- 審査の過程で追加資料を求める場合があります。
- 審査には**1～3ヶ月程度**掛かります。技術検定の受検申込期間に間に合うよう、計画的に申請をしてください。直前の申請では受検が認められないことがあります。
- 2級の申請をされる方で、将来1級も受検する予定のある方はまとめて申請することをおすすめします。
- 審査後、国土交通省から技術検定の受検に必要な実務経験年数を記載した「国土交通大臣認定書」を交付します。認定書は技術検定の受検申込時に必要になりますので大切に保管してください。

※公証について

国民の私的な法律紛争を未然に防ぎ、私的法律関係の明確化、安定化を図ることを目的として、証書の作成等の方法により一定の事項を公証人に証明させる制度です。

認定申請の際には、外国語の書類及びその和訳書類について、①署名又は記名押印の認証、②宣誓認証のいずれかの手続きが必要となります。詳細な公証手続きについては、お近くの公証役場にお問い合わせ下さい。

<参考：法務省 HP> <http://www.moj.go.jp/MINJI/minji30.html>

(送付先・問い合わせ先)

〒100-8918 東京都千代田区霞ヶ関2-1-3

国土交通省 不動産・建設経済局 建設業課 技術検定係

TEL: 03-5253-8111 (内線 24-744) FAX: 03-5253-1553

(様式 1)

(申請日) 令和 年 月 日

国土交通大臣 殿

氏 名

技術検定受検資格認定申請書 (国外学歴)

建設業法施行令第 36 条第 1 項第 4 号 (1 級)、第 37 条第 2 項第 1 号口及び同項第 2 号口 (2 級) の規定により、技術検定の下記の種目について受検資格の認定を受けたいので関係書類を添えて申請いたします。

(1) 申請者に関する情報 (受検者本人)

フリガナ 氏名 (日本語)			
Name (English)			
住 所	〒 ー (電話番号 ー ー)		
生 年 月 日	昭和・平成 年 月 日	国 籍	
勤 務 先			
勤 務 先 住 所 (※)	〒 ー (電話番号 ー ー)		

※大臣認定書は原則として申請者の住所へ送付します。勤務先への送付を希望される場合は () に○を付けてください。

(2) 受検種目及び級 (該当するものに○を付けること) ※複数の種目を申請すると審査に時間が掛かります。

種目	建設機械	土木	建築	電気工事	管工事	電気通信工事	造園
1 級							
2 級							

(3) 学歴に関する情報 (大学院を除く最終学歴を記入すること)

学 校 名	
学部・学科名	

(4) 実務経験に関する情報

受検種目に関する実務経験年数 (日本における)	年 月
-------------------------	-----

※審査の参考にものみ使用します (まだ実務経験が無い場合は“0 年”と記入してください)

(様式2)

(作成日) 令和 年 月 日

成績証明書

申請者			
学校名		学部・学科名	

	授業科目	時間数	単位数
1	〇〇〇〇	〇〇	〇〇
2	〇〇〇〇	〇〇	〇〇
3	〇〇〇〇	〇〇	〇〇
4	〇〇〇〇	〇〇	〇〇
..
合計		〇〇	〇〇

記入の仕方

- 時間数はすべて実時間で記入してください。
- 実習・実験・演習がある場合には、科目名の欄に各々実習・実験・演習と記入してください。
- 単位数は、総時間数（実時間数による）から下の計算方法により求めた数値を記入してください。
- 時間数が成績証明書の原本に記載されていない場合も、時間数の記入が必要です。

講義の場合 総時間数 ÷ 15
演習の場合 総時間数 ÷ 30
実習・実験の場合 総時間数 ÷ 45

(様式3)

(作成日) 令和 年 月 日

履歴書

申請者	
-----	--

学歴

入学	卒業	学校名	所在国名
〇〇年〇月	〇〇年〇月	〇〇〇〇 小学校	〇〇〇〇
〇〇年〇月	〇〇年〇月	〇〇〇〇 中学校	〇〇〇〇
〇〇年〇月	〇〇年〇月	〇〇〇〇 高等学校	〇〇〇〇
〇〇年〇月	〇〇年〇月	〇〇〇〇 大学	〇〇〇〇

注意

- 同様の記載があれば別様式の履歴書でも可。
- 年号は全て和暦で記入すること。(例：令和〇年)